

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	イラク北部 2 郡の小学校の教育環境の改善およびドホーク州の学校運営能力の向上
(ア) 事業の必要性 (背景)	<p>(ア) イラク北部の教育施設は、政府の予算不足等を理由に校舎の老朽化や屋根崩落の危険、衛生設備の不備など安心して学習できる環境にない学校がまだ多数存在する。また人口の急増により教室が不足し授業時間を短縮して合同授業や交替制で対応しているが、学校によっては待機生徒の問題や 30 人用の教室に 50 人以上が入り窮屈な状態での学習を余儀なくされている。</p> <p>一方、ソフト面ではイラク中央政府教育省の組織強化、教育システム再構築や教育改革のための能力向上に力が注がれ、人材育成の一躍を担う教育現場における教育の質の向上は重要であると考えられているが、手がつけられていないのが現状である。</p> <p>(イ) 弊団体は 1996 年よりイラク北部で支援活動を開始し、2013 年 5 月までに計 51 校の改築事業を行ってきた。対象校においてはその後も住民による維持管理がされ、その結果、生徒の学習への意欲も上がった。</p> <p>ただ一方で、教育環境整備を必要とする学校は 700~800 校あるといわれており、弊団体はクルド自治政府教育省 (以下、教育省) からの要請を受け、(新校舎建設、修復・増築支援が必要だがとされるが) 2012 年度教育省の年間計画に含まれなかったアクレ郡とアルビル郡、ザホ郡の学校リスト計 14 校の内、7 校を実際に訪問し調査を行った。その結果、校舎の老朽化がひどく生徒の安全や衛生状態に問題があり、教室不足のため 2 学年合同授業や 2~3 部交替制にして待機生徒がでないよう努力しているアクレ郡とアルビル郡の小学校計 3 校を対象として選定した。なお、この 3 校においてはこれまで住民や校長・職員により教育環境改善のために自助努力がなされており、このことも選定する上で考慮した。</p> <p>また、教育現場における教育の質は、校長の学校運営能力に左右されることが多いが、クルド人自治区には校長を対象とした学校運営トレーニングを提供する政府機関やその他教育機関がないため、学校運営のノウハウを知らずに、教師から校長になる場合がほとんどである。したがって、教育の質の向上のための一つの切り口として、教育現場における校長の学校運営能力向上のためのトレーニングが必要とされており、弊団体は教育省からの要請を受け、クルド人自治区 3 州のうち、本事業ではドホーク州において、ドホーク州の実態に合わせた学校運営能力向上トレーニングを実施することとした。</p>
(3) 事業内容	<p>(ア) 小学校改築事業 (詳細説明は別紙 1 参照)</p> <p>(a) アクレ郡ギルダセン地区ベビーナヴァ村小学校 : 6 教室校舎 (職員室、倉庫、トイレ含む) の建設</p> <p>(b) アクレ郡ギルダセン地区シーブラザン村小学校 : 6 教室校舎 (職員室、倉庫、トイレ含む) の建設</p> <p>(c) アルビル市ダラトゥ地区ダラトゥ町ダスタン小学校 : 6 教室と職員室 2 部屋の増築、既存校舎の修復</p>

	<p>(d) 上記 3 校へ机、椅子、職員用デスク等の整備</p> <p>(イ) 学校運営能力向上トレーニング事業(詳細説明は別紙 1 参照) 現地教育局との連携のもと、ドホーク州の各郡・地区がカバーできるように現地教育局により選ばれた計 25 名の校長および現地教育局教育監督者(*1)を学校運営能力向上トレーニングのマスタートレーナーとして養成するため、教育分野のトレーニングの国際専門家を現地に招聘し、事業期間を 8 フェーズに分け、実施する： [第 1 フェーズ] 国際専門家による現地の実態調査・調査結果の分析 [第 2 フェーズ] 実態をより理解するためのアンケート作成 [第 3 フェーズ] アンケート調査・調査結果の分析 [第 4 フェーズ] マスタートレーナー養成トレーニング内容、教材、トレーニング習得度テストの作成 [第 5 フェーズ] マスタートレーナー養成トレーニング実施 トレーニングは週末を挟み、4 回に分け、1 回あたり 3 日間(金～日曜日)、1 日あたり 5 時間とし、毎回 2 つのトピックに基づいて、国際専門家が実施する。 [第 6 フェーズ] トレーニング習得度テストの実施および修了証の発行 [第 7 フェーズ] フォローアップ 国際専門家は、毎月 1 回、3 日間(金～日曜日)の日程で行われるマスタートレーナー(6～7 名)による校長向けトレーニング(計 125 名の校長が参加)の様子を観察し、マスタートレーナーに必要な応じた助言を与える。 [第 8 フェーズ] 総合評価 国際専門家、現地教育局、弊団体の 3 者による評価を実施し、また、ドホーク州において今後どのようにマスタートレーナーによる学校運営能力向上トレーニングを実施していくのが良いかなどの助言も含めた提案を行う。 (*1)現地教育局教育監督者(Educational Specialist)は、現地教育局に所属し、担当の学校に年度はじめと年度のおわりに事前の通達なし訪問し、学校の運営や教育・学校設備の質、教科書などが十分あるかなど、学校運営全般について確認・監督し、学校と現地教育局との連絡調整の役割を果たす。現地教育局教育監督者になるには教師、校長経験者が現地教育局の試験に合格する必要がある。 第 3 期においては、小学校改築事業と並行し、第 2 期の学校運営能力向上トレーニング(パイロット期)の学びをもとに、クルド人自治区の他州においての実施を計画している。</p>
(4) 持続発展性	<p>(ア) 小学校改築事業</p> <p>本事業により改築される校舎は、完成後に管轄の各教育局に引き渡され、各教育局の責任のもと教育局予算にて維持管理が行われるが、日常的な維持管理においては、校長、職員、保護者、地域住民から成る組織が中心となり行われる。維持管理の費用として、2012 年度の実績では、教育局より 1 校あたり年間で 200,000 ディナール(約 200 ドル)</p>

	<p>が割り当てられている。この金額は学校の維持管理に決して十分ではないが、不測の事態については、多くの場合対象地域において住民の協力により解決されており、今後も校舎の維持管理においては住民が対応する。なお、弊団体は各教育局への引き渡し後、修復・増築事業については3ヶ月間、建設事業については6ヶ月間モニタリングを行う。そのモニタリング期間に改築後の校舎に不具合が生じていると判明した場合には担当業者の責任で修繕することとしている。</p> <p>(イ) 学校運営能力向上トレーニング事業 本トレーニング事業は現地教育局に引き継がれ、現地教育局の指揮のもと、25名のマスタートレーナーにより、本トレーニングを受講していない校長に対し、本トレーニングが実施されていくことが期待される。持続的に本トレーニングが実施されるよう、次期事業(第3期)においても、弊団体としてフォローアップを行う。</p>
<p>(5) 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>(ア) 小学校改築事業</p> <p>(a) アクレ郡ギルダセン地区ベビーナヴァ村小学校： 6教室校舎(職員室、倉庫、トイレ含む)の建設 [期待される成果] 教育環境が改善し、交替制と合同授業がなくなることで、通常の授業時間で生徒たちが意欲的に学習に取り組めるようになる。 [成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒約80人、職員約5人 間接裨益者数：約300人(ベビーナヴァ村人口)</p> <p>(b) アクレ郡ギルダセン地区シーブラザン村小学校： 6教室校舎(職員室、倉庫、トイレ含む)の建設 [期待される成果] 教育環境が改善し、交替制と合同授業がなくなることで、通常の授業時間で生徒たちが意欲的に学習に取り組めるようになる。 [成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒約60人、職員約5人 間接裨益者数：約450人(シーブラザン村人口)</p> <p>(c) アルビル市ダラトゥ地区ダラトゥ町ダスタン小学校： 6教室と職員室2部屋の増築、既存校舎の修復 [期待される成果] 教育環境が改善し、交替制が減少することで、授業時間が増え、生徒たちが意欲的に学習に取り組めるようになる。 [成果を測る指標] 直接裨益者数：生徒約960人、職員約40人 間接裨益者数：約7,200人(ダスタン町人口)</p> <p>直接裨益者 計：生徒1,100人、職員約50人、 間接裨益者 計：約7,950人</p> <p>(イ) 学校運営能力向上トレーニング事業 [期待される成果] 学校運営能力の向上。</p>

	<p>[成果を測る指標]</p> <p>直接裨益者数：校長・現地教育局教育監督者 計 150 人</p> <p>間接裨益者数：約 330,000 人 (1,400 校(*2))</p> <p>(*2) ドホーク州の初等中等教育 (1~12 年生) のおおよその学校数。</p>
--	--